



校長室だより

校長 山崎 聡子

思いを言葉で表現すること

2学期が始まって一週間が経ちました。残暑が厳しい中での登校に、多くの保護者の皆様には学校まで付き添っていただきました。また、登校中、子供たちへ声掛け等もしていただきました。温かな見守りの中歩道橋で転んでしまった子供に気付いてくださったことで、早めの対応に繋げることができました。保護者の皆様の見守りがあることで、全ての子供たちの安全がより守られております。感謝申し上げます。

さて、歩道橋で転んでしまった子供とゆっくり歩いて学校に行きました。学校に到着し、靴を履き替えようとしていると、同じクラスの友達が「大丈夫？」と声をかけてくれました。そして、泣いているその子の上履きを下駄箱から取り出して足元にそっと置いてくれました。何気ない動きの中に優しさが溢れていて、温かな気持ちになりました。一番嬉しかったのは、転んで悲しい思いをした子供であったろうと思います。

教育活動の一つである、水泳学習が始まりました。今年度から水温と気温を合わせて65度以上になった場合は中止とする基準が教育委員会から示されました。基準の関係から、初日は、1・2校時の2年生のみの実施となりました。水泳指導にあたっての上限が示されるほど異常な暑さの中での学習であるため、子供たちの様子を把握するために、2年生の引率を行い、子供たちに声をかけながら様子を見守りました。子供たちは先生の話をよく聴きながら、水

に慣れる活動に取り組んでいました。活動終了時に、子供たちが目を見て、「ありがとうございました」と伝えてきました。相手を意識して感謝の思いを言葉で伝えることができる姿に、素敵な子供たちだなあと改めて思いました。

アメリカの哲学者・心理学者のウィリアム・ジェームズの言葉に次のようなものがあります。「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」心は、表現する言葉によっても変わっていくと考えます。とすると、行動習慣、人格、運命の変容には言葉が大きく関わっていると捉えることができます。

子供たちの前向きな思いが2学期の目標として言葉で表現されています。

「苦手な教科を自分なりに努力してできるようになっていきたいこと」「勉強をクラスの仲間や先生と共に頑張っていきたいこと」「給食を残さずに食べていくこと」「みんなに優しくしていきたいこと」「困っている友達がいたら、助けていこうと考えていること」「言葉遣いに気を付けて行動していきたいこと」「見通しをもちながら生活していきたいこと」「考えたことを生活や勉強に生かしていきたいこと」「感謝の言葉を伝えていきたいこと」「自分から進んで挨拶していくこと」「体づくりをして健康に気を付けていきたいこと」「友達をもっと増やしていきたいこと」等、紹介しきれないほどの思いが多々あります。

子供たちが言葉で表現した前向きな思いが実現できるよう支えたいと思います。